

## 「OPEN SITE 2018-2019」企画決定！



観る人にも、表現する人にもオープンでクリエイティブな場（＝サイト）を目指し、全ての表現に門戸を開いたトーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）の企画公募プログラム「OPEN SITE」。今年度の実施企画が決定しました！

今年の3月から4月にかけて実施した公募では、国内外から昨年を上回る285企画が集まりました。あらゆる表現に挑戦する企画内容を徹底的に検証し、書類審査と面接審査を経て展示部門4企画、パフォーマンス部門3企画、そして本年度新設のOPEN SITE dot 枠から2企画を選出しました。さらにTOKAS推奨企画、教育普及プログラムを加えた計11企画を2018年11月から2019年2月まで、2会期にわたり紹介します。ジャンルを超えた創造の場にご期待ください！

## 開催概要

実施期間： Part 1 2018年11月24日（土）～12月24日（月・祝）  
Part 2 2019年1月12日（土）～2月11日（月・祝）  
会場： トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）  
休館日： 月曜日（ただし12月24日、1月14日、2月11日は開館）、  
年末年始及び展示替え期間（2018年12月25日～2019年1月11日）、1月15日  
主催： 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーアーツアンドスペース  
ウェブサイト： <http://www.tokyoartsandspace.jp/>

## 募集概要

募集期間： 2018年3月1日（木）～4月13日（金）  
応募総数： 285企画  
審査員： 畠中実（NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]主任学芸員）  
久野敦子（公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター）  
毛利嘉孝（社会学者、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授）  
近藤由紀（トーキョーアーツアンドスペース プログラム・ディレクター）

### < お問い合わせ >

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室内 3F  
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース事業課 広報担当：市川、荻田  
TEL：03-5633-6373 FAX：03-5633-6374 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

※トーキョーアーツアンドスペースは、平成29年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。

■ **実施企画** 「OPEN SITE 2018-2019」では企画の内容に合わせ、実施形態を3通り設定しています。

- ◆各企画のタイトル等詳細は変更となる場合があります。予めご了承ください。
- ◆公演の実施日程、有料公演の入場料金や予約方法等の詳細は、後日 TOKAS のウェブサイト及びチラシにて発表します。

【**展示**】 会期中の開館時間内であればいつでも入場できます。予約不要、入場無料。  
企画により会期中にイベントを実施します。

Part 1   2018年11月24日(土)～12月24日(月・祝)	
企画者(国)	<b>本間メイ</b> (日本)
企画名	<b>「つぎはぎの"言葉" (字 ことば kata-kata)」</b>
概要	インドネシア・日本・マレーシア出身の、異なる母国語を持つ3作家による、言葉を巡る作品を展示。英語という1つの共通言語だけでは捉えられない事柄や精神を、それぞれの言葉を紡いで追求し、生成する。
企画者(国)	<b>現像 (キオ・グリフィス+細淵太麻紀)</b> (日本)
企画名	<b>「photopia/scotopia—東京」現像 Vol.4</b>
概要	現代写真の可能性と、バーチャル化した暗室から浮かぶグローバル論を問う出版プロジェクト。本企画では2020年に向けて変貌を遂げている「東京」を現像する。実像の表層、虚像の集積による「所在視」を探求する。
Part 2   2019年1月12日(土)～2月11日(月・祝)	
企画者(国)	<b>MUTEK.JP</b> (ドイツ)
企画名	<b>「VR Salon: Immersive Realities」</b>
概要	仮想現実(VR)と拡張現実(AR)による新しい芸術的実践の試みを探求するインタラクティブ型展示。
企画者(国)	<b>玉木晶子</b> (日本)
企画名	<b>「ブレイクタイム(仮)」</b>
概要	映像と現実が交差し、互いに影響し合い、複数のメディアを越境するマルチスクリーン・インスタレーション。空間に実在する作家、観客と映像内の登場人物が空間を徘徊する、パフォーマンス要素を持つ展示。

## 【パフォーマンス】

特定の公演日に上演、実施されます。鑑賞には事前予約と入場料が必要です。  
予約状況により当日券の販売を行います。料金は企画により異なります。

Part 1   2018年11月24日(土)～12月24日(月・祝)	
企画者(国)	神里雄大(日本)
グループ名	岡崎藝術座
企画名	「いいかげんな異邦人の伝承(仮)」
概要	ペルー出身の日系人である劇作家・演出家の神里雄大が、日系移民へのリサーチを軸に、日本人、国家、国籍とは何かを問い、「外にある日本」を描写するレクチャーパフォーマンス。
企画者(国)	樋口鉄平(日本)
グループ名	Théâtre Musical Tokyo (TMT)
企画名	「米田恵子(1912-1992)の作品と生涯について」
概要	ジョン・ケージと同時代に日本に生まれた女性芸術家・米田恵子に焦点をあて、異分野の現代芸術家たちが、彼女の実験的精神とその生涯を辿るプレゼンテーション形式のパフォーマンス。
Part 2   2019年1月12日(土)～2月11日(月・祝)	
企画者(国)	太田信吾(日本)
グループ名	演劇ユニット ハイドロプラスト
企画名	「領土」
概要	入院病棟の2人部屋という空間を舞台に「領土」という抽象的概念を批評的に問い直し、他者との関係性に焦点を当てる演劇作品。

## 【OPEN SITE dot】 ※2018年度新設

特定の公演日に上演、実施されます。事前予約の有無は企画により異なります。入場無料。

Part 1   2018年11月24日(土)～12月24日(月・祝)	
企画者(国)	根本しゅん平(日本)
企画名	「It captures me, It moves me and It's gone」
概要	根本しゅん平振付の表題作品を、作曲技法のフェーズ・シフティングをダンスパフォーマンスに置き換える手法を説明しながら実践するレクチャーパフォーマンス。
Part 2   2019年1月12日(土)～2月11日(月・祝)	
企画者(国)	宮田 篤(日本)
企画名	「『びぶんブックス』 ことばの店：微分帖」
概要	共同作文の仕組みを取り入れたワークショップ作品《微分帖》を書店に見立てた空間に展開し、ワークショップをとおして来場者とコミュニケーションの多様性、不完全性、重要性の共有を目指す。

## 【TOKAS 企画】

公募企画に加え、自由なプラットフォームとしての OPEN SITE の魅力を最大限に伝えるべく、TOKAS がいま実施すべきと考える企画を紹介します。本年度の「OPEN SITE 2018-2019」では TOKAS 推奨企画として、アートやパフォーマンス等のジャンルを超えた活動を国内外で行う contact Gonzo によるパフォーマンスと、教育普及プログラムとして小沢裕子をファシリテーターに迎えたワークショップを実施します。

パフォーマンス (TOKAS 推奨企画)	
出演者 (国)	contact Gonzo (日本)
企画名	「contact Gonzo + yang02 (仮)」
日程	2019 年 1 月 19 日 (土)
料金	有料 ※要予約
概要	殴り合い、ぶつかり合いの中から生まれる即興をベースに、痛みと驚きをもたらす身体表現を繰り広げるアーティストコレクティブ、contact Gonzo による新作パフォーマンス。ゲストにメディア・アーティスト yang02 を迎える。

ワークショップ (教育普及プログラム)	
作家名 (国)	小沢裕子 (日本)
日程	2018 年 12 月 8 日 (土)、9 日 (日)
企画名	「SPEAKERS 言葉の乗り物になった私たちが、そのとき身体で目撃すること」
参加費	無料 ※要予約
概要	異なる 3 つの役割「質問者」、「スピーカー」、「回答者」を体験し、他者の身体を介して会話したり、他者の言葉をただ発するだけのスピーカーになるなど、言葉と身体の関係性をずらすことで新たな感覚を発見するワークショップ。